
こうゆうのって良いのかな？なんでもアリなんて!?

UMA

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

こうゆうのって良いのかな？なんでもアリなんて！？

【Nコード】

N7443X

【作者名】

UMA

【あらすじ】

その少年は全ての世界の”バグ”となった。神様よりも強いなんて！？そんな感じで進めていきたい。だが主人公はやろうとすると全て出来てしまうためめんどくさがり屋に……そんな主人公でやっていきます。

プロローグ

———ある日、世界にバグが入り込んだ———

その少年の最後の1日はこうだった……

「おい、■■■今日のテストどうだった？」

「そうだな…まあまあじゃないか？」

「まあ、そんなもんだよなー」

そんな風に少年は学校帰りに友達と話していた、と——そこに……

「うわっ！！何だこれ！？」

「ん？どうした？そんな驚いた顔して？何かあるのか？」

その少年の友は気付かない、目の前にゲートと言われる物体が出ている事に…

「なんだ？吸い込まれる？！！」

「お、おい！？どうした！？」

そして、少年がそのゲートに吸い込まれると……

「あれ？何してんだ、俺？」

少年の友の記憶から、否、その世界の記録から消えた……………

「ここ……どこだ？」

そんな少年の問いに応えたのは、40代ぐらいの男だった：

「ここは………そうだな、始まりの世界とでも言っておこうか……」
その男が言う、それを聞いた少年の目がその男に向かう

「あんた……だれだ？」

「そうだな……お前ら人間風に言うと、神」

「は？神？」

「そうだな……取り合えずお前は死んだとかそんな訳ではない」

「そうなの！？神様が目の前に居るんだったら死んだとかそんなぐ
らいだろうけど」

「お前はな、突然変異っていうか、まあそんな感じなんだよ」

「え！？なにそれ！？」

「お前はな、人より上、と言うか、俺達、つまりは天使、悪魔、神

と言う存在にも強い力を持ってしまったんだよ。」

「なにそれ……何かすげえな」

「まあ、生物の心を操ったりはできないんだがな。だがそれ以外はやろうとすればできてしまうと思うけどな。たぶん俺を殺そうと思ったら出来てしまうと思うぞ」

「ふーん、で、俺をどうしたいわけ？」

「俺にはどうにもできないよ。だからお願いだ。この世界を壊さないでくれ」

「なんだ？ そんなことだったのか？ まあ、いいや。OK、その願い聞きたいよ」

「カッコつけんなよ……」

「べつにいいだろ。それで・どうやって帰るんだ？」

「ああ、その事だが、お前はどんな世界でも行けるようになったわけだ。そこで、元の世界でのお前の存在を消さしてもらったよ。だが新しくここに居るがな」

「おお……すげえな俺、てことは何？ いろんな世界を回る旅とかいわけ？」

「うん、いいわけ、だから行ってきなさい、行く世界を想像したら行けると思うから。」

「そうなんだ、まあいいや、それじゃあどこに行こうか？アニメの世界とか面白そうだな……俺が知っているのは、いっぱいあるな、とある魔術のく、エンジェルビーツ、ワンピース、ナルト、ブリーチとかかな？それじゃあとある魔術のくの世界にまずは行ってみようか……えーと、どうすればいいんだ？

”ゲート” 開け。

とか？」

すると少年の前にゲートが現れる

「うおっ、すげえな……マジで出てきたよ……」

こうして、少年の旅が始まった――――

しょっぱな原作崩壊

俺はゲートをくぐってとある魔術の禁書目録の世界に来たんだけども…………

「何故に、此处に居る？」

「それは僕が聞きたいよ…………君は誰だい？」

目の前にはアレイスター・クロウリー本人が居ました。

「どうしてこうなった!!」

「それは僕が聞きたいよ。それと君は誰なんだい？」

「あ？俺か？俺は、三橋^{みはし}和也^{かずや}とりあえず…よろしく？」

「三橋 和也…………君はなんだ？」

やっぱり、アレイスター君にはばれたよ。

「ん…………なんだろう？バグ？…………この世界ならなんだ？神上よりも強い存在？」

「!!…そうか…………和也、学園都市に来ないかい？」

「え!?!良いの?マジで!! OKよOK」

「そうかい（この者が居ると僕の計画が潰されそうだからね。どう

せなら手元に置いておいた方が良い」

それから数日後……………

ここは、とある学生寮。和也は高校に通うことになったのだった…
そして今日7月20日この物語（とある魔術の禁書目録）の主人公・
上条 当麻の通う高校の夏休み初日。

和也は……………アレイスターに用意してもらった学生寮の一室
でだらけていた。

「あうー暇だーやることねえーよー……………原作介入しちまうか？
……………よしやろう！」

そんなことを考える和也だった……………

「そうだな……………そうだ！なんでもできるってことは時間移動みた
いな事が出来るんじゃないか！？」

そんな事を考える和也。実はそんな事は普通にできてしまう和也で
した。

そして和也はイベントが起こる時間に飛んでいったのであった……………

「とうちゃ——く!!!」

「「誰だ!!!」」

俺の目の前には上条当麻、ステイルⅡマグヌス、神裂火織、そして、眠っているインデックスが居た。
そう、原作一巻の最大イベントである。

「あーゴメンネ？俺は三橋 和也まあ気にしなさんな。いろいろあるんだよ」

「「いろいろって（なんだ）（なんだい）（なんですか）!!!」」

「きにしない、きにしない。と言うわけで上条くん。君は記憶喪失になるのと、ならないのどっちが良いかな？」

「そりゃあならない方が良いだろ!？」

「上条当麻、急いでください。時間がありません。速くしてください、あとそのあなた、邪魔をするなら容赦はしませんよ」

「わかったから。その武器をしまってくださいかな？」

「なら良いです」

そこからは原作どおりだった：違う所は上条当麻の頭に羽が触れようとしたとき…………

「よし来た!！」

和也がその羽をつかんだ事だった…………

しょっぱな原作崩壊（後書き）

と言うわけでめんどくさいから一巻目はすぐ終わらせました。
こうゆうのは嫌だ！！って言う人はすぐにこれを読むのをやめてい
ただくと作者本人もうれしいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7443x/>

こうゆうのって良いのかな？なんでもアリなんて!?

2011年11月14日06時21分発行